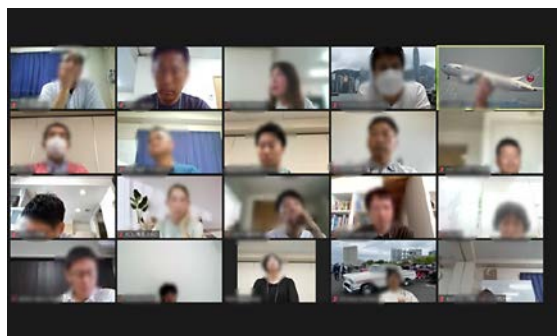


PA (パイロットアシスタンス) / CI (クリティカルインシデント) PSV セミナー開催報告

2023年8月23日から25日までの3日間、日乗連パイロットアシスタンスの資格取得のセミナーがオンラインと実参加のハイブリッド方式で開催されました。新規受講者9名がPSV(ピアサポートボランティア)として誕生し、従来の資格保持者を含め計30名のPSV体制になりました。MHP(メンタルヘルスプロフェッショナル)である公認心理師/臨床心理士の中濱慶子先生を講師にお招き



し、メディカル、アルコール/薬物依存、訓練問題、Professional Standard、Wellbeing、そしてクリティカルインシデントの6つの項目への対応ができるよう、ケースワークを交えて講義が進められました。

セミナー終了時点で、RCU、JAC、JTOPS、UJAR、SNJK(JJP含む)、IPU、ORC、HAC、JFU、ACAに日乗連PSVが在籍しており、北は北海道、南は沖縄まで遠隔地を含めて、会社や所属基地を超えて対応できる体制となっています。悩み事や相談があれば、お気軽にPSVへ相談をしてください。

クリティカルインシデント(航空事故、インシデント)発生時は、所属のPSVや執行委員から連絡をさせていただきます。事例発生直後からストレスによる反応が発生しますが、PSVやMHPが早めに対応することにより、職場への復帰がスムーズになることが明らかになっています。

特に身体検査問題や法律問題は多くの相談が寄せられており、HUPER委員会やLEGAL委員会の専門家、弁護士を中心とした対応が可能な体制となっています。悩みやトラブルを早期にPSVが対応することにより、9割前後の相談者が職場への復帰を果たしています。残り1割の相談も、MHPや専門家に対応することにより、早期の職場復帰を目指します。うつ病などの深刻な症状に移行する前に、仲間を助ける制度となっています。悩み相談は次の項目です。

- メディカル (航空身体検査に関する諸問題)
- アルコール/薬物問題 (アルコール/薬物に関する問題全般)
- 訓練問題 (訓練にかかわる事項全般)
- Pilot Professional Standard (パイロットがかかわる専門的または倫理的問題の対処)
例) CRM, 相手との対立、SOPに従わない、クルーの間の安全性への影響、ハラスメント等
- Pilot Wellbeing (PILOTのパフォーマンスに与える身体的、心理的、社会的、感情的な問題)
例) 人間関係、家庭生活における問題など
- クリティカルインシデントへの対応

パイロットアシスタンス(PA)相談窓口 <秘匿性は守られます>

PA 専用電話(050-30-911-080) PA 相談メール pilotassistance@alpajapan.org

以上